

東日本大震災 みなさんは何を想う

2011年3月11日、14時46分、M9.0の大地震が起きました。まだ幼かったみなさんですが、覚えているでしょうか。私は卒業式も終わり、少しのんびりした気分で、部活動にいろいろと準備をしていたところでした。職員室にいた誰かが、インターネットのニュースか何かで「東北で地震が起こった」と言って、テレビをつけました。テレビを見たとき、最初何が起きているのかよくわかりませんでした。映画か何かの一場面を見るように、ぼーっと画面を見ていました。堤防近くの道から、車が、家が、船が傾いた状態で流され、ところどころに人影がある映像が映し出されました。その時でも「なにこれ。どうなってるの?」としか感じることができず、アナウンサーの悲鳴に近い声もどこか遠くの出来事で、人ごとのように感じていました。初めて見る悲惨な現実の光景を、現実と認識できませんでした。時間がたつにつれ、徐々に映画や作られた画像ではない、現実の世界だと認識した途端、怖くて不安で、心臓がドキドキするのを感じました。その後、時間がたつにつれ津波や地震の大きさ、多くの人の命が奪われたこと、原子力発電所のことなど、未曾有の災害であることがわかってきました。三重県から離れた、東北地方だけの災害ではなく、伊勢市でも「津波警報」が発令されました。

あれから11年が経ちました。その間、東北だけでなく、日本中、世界中から支援の手が差し伸べられました。施設や設備など形のあるものは、復興しているところも多くあります。しかし、人々の気持ち、意識はどうでしょう。まだまだ復興していないように思います。すべての復興はまだ道半ばです。いや、始まっていないところもあるのではないのでしょうか。特に、原子力発電所に至っては、なかなか計画通りに進まず、多くの人が、故郷に帰れない状況もあります。振り返ると、このような大惨事を、未然に防げたかもしれません。しかし、残念ながら、失われた命は戻ってきません。私たちは、多くの人の犠牲を無駄にせず、命を守るために何を学んだのでしょうか。学校では避難訓練、防災学習、危機管理など命を守る学習をしています。しかし、まだまだ足りないように思います。学校の1番の目的は各教科の学習をする場です。しかし、命がなければ何事もできません。まず命を守る取り組みが必要です。この地域でも、近い将来（明日かもしれません）大きな地震が起こると予想されています。そのための備えをしていますか。もし地震が起こったら、逃げる場所（自宅、登下校中、外出先、学校などあらゆる場所を想定して設定しておく）、持ち物、家族との連絡方法などいろいろなことを準備し、決めていますか。学校での取り組みは、今後も続けていきます。しかし、一番大切なことは「一人ひとりの意識」です。みなさんは、被害の様子を見ていない、あるいは記憶にないかもしれません。しかし、東日本大震災を忘れることなく、被災者のみなさんを思い、教訓として、自分は何ができるのか、命を守るためにはどうすればよいのかを考えて、日々、行動することを意識してください。

東日本大震災で命を失われたみなさんのご冥福をお祈りいたします。また、これから目に見えるものも、目に見えないものも復興が早急に進められることを願います。

○生徒会本部役員選挙

9日（水）に令和4年度前期生徒会本部役員選挙が行われました。選挙は今年度内に行うことができましたが、全校が集まったの、立会演説会は行わず、放送による演説になりました。毎年そうですが、今回もそれぞれの責任者が候補者の長所をアピールし、候補者は自分の考えをしっかりと述べていました。また、選挙公約を広報として全校生徒に配布されました。年々、その内容が充実してきたように思います。生徒会は本部役員だけではありません。全校生、一人ひとりが生徒会員です。自分たちの学校をどんな学校にしたいのか、どうすればそうなるのかを考えて、本部役員と協力して行動してください。本部役員に選ばれた人は、大変ですが選ばれたのですから、自信をもって頑張ってください。

会長 **洲濱 一惺**

副会長 **森口凌寿** **松林希竜**

書記 **中北聖乃** **牧野結奈**



～ 港中活躍しています～



○第63回伊勢市教育美術展

書写の部

1年	浦野大和 中北瑞樹	勝岡大一 吉田悠真	山根 翼	金森伊智也	柴田瑛斗
2年	小林心咲	磯田菜々音	木村楓我	西 哲史	前川 鈴

平面の部

1年	勝岡大一 世古 萌 吉田悠真	久住めい 大西昇汰	野口陽向 曾根苺果	山根 翼 竹内 照	世古口美莉 中北瑞樹
2年	久保愛茉 中北聖乃	山口心菜 西 哲史	木村美友	木村楓我	黒瀬涼夏

○第53回全国短歌フォーラム

秀作賞 **梅林莉子** **柏木啓太**

○第42回三重県小中学校書初め展

入選 **菊川理央** **前川 鈴**

○令和3年度 伊勢市人権作文集「人権の芽」

優秀賞 **橋本真妃** **藤原芯樹**



～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、また各ご家庭で検温など、感染症予防対策につきましても引き続きご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。

さて、卒業式も無事終わり、今年度も残すところ1週間ほどになり、それぞれが次の学年に向かう準備の期間となりました。感染症はまだまだ収束を迎えることはできません。引き続き、学校では感染症予防対策を行い、教育活動を進めます。よろしくお願いいたします。